

7回以上出席した **73名(昨年51名)**には単位が付与されました
2021年度も、様々な分野で活躍する方々を講師にお招きします

① 高度専門キャリア形成論等の実績(2020年4月～2021年2月)

2020年度の講義実績 (外部からの講演は企業名を記載)

- 第1回 「企業が求める人材とキャリアデザインを考える」 キャリアデザインシリーズ1
- 第2回 「企業の最前線で活躍する商品開発に聞く」 日清食品
- 第3回 「志望企業の内定を決めた院生たちが語る」 2021年入社予定大学院生5名
- 第4回 「就活エントリーシートで自己PRする」 キャリアデザインシリーズ2
- 第5回 「公務員に合格した学部生・院生たちが語る」 公務員試験合格者5名
- 特別講演 「志願企業の内定を決めた学部生たちが語る」 2021年入社予定者5名
- 第6回 「院生の就活体験と就活必勝法を語る」 2021年入社予定大学院生5名
- 第7回 「業界・企業の徹底研究と職種選択」 キャリアデザインシリーズ3
- 第8回 「コミュニケーション力の強化とEQを上げる」 キャリアデザインシリーズ4
- 第9回 「面接で内定を勝ち取る術」 キャリアデザインシリーズ5
- 第10回 「企業や独立行政法人で活躍するOBOGの働き方」 日本水産・環境再生保全機構

今年度はコロナ禍で講義のすべてが遠隔授業となり残念でしたが、多くの学生に何度も繰り返して視聴された結果、3000回近くの閲覧がありました。2021年度も皆さんのキャリア形成と就職活動に役立つ講義にご期待ください!

■ 2020年度実績			作成日 202年 2月 28日
大学院生 受講者数	学部生を含む 視聴者数	総閲覧回数	一人当たりの 閲覧回数
603名	868名	2983回	3.4回

② キャリア相談の面談実績とエントリーシート添削

■ 2022年3月卒業修了予定学生就活支援実績(2019年4月～2022年2月)

所属	人数	面談回数	添削回数
学部・大学院	256名	962名	761名

■ 2022年3月卒業修了予定学生就活支援実績(2020年4月～2022年2月)

所属	人数	面談回数	添削回数
学部・大学院	153名	479名	437名

【キャリア支援センター】

～キャリア面談で就職活動をしっかりとサポート～

まずは相談!

就職活動は最終段階に入った。面接で就職内定を勝ち取ろう!

- ・個人の持ち味、強みをどうアピールするのか! 的確なアドバイスをします。

キャリア面談の予約方法はキャリア支援センターのホームページをご覧ください

<https://www.kaiyodai.ac.jp/campus-cms/syusyokushien/> (特任教授 塩谷和美 特任准教授 服部典子)

★ 第10回講義報告

企業や独立行政法人で活躍するOBOGのキャリアと働き方

★ 2020年度の実績のご報告

国立大学法人
東京海洋大学・キャリア支援センター

電話: 03-5463-0575
Email: career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodai.ac.jp/career

※このNewsletterは、東京海洋大学キャリア支援センターが作成・配信しています。キャリア開発に関するイベントのお知らせや活動報告等をお届けしています。

企業や独立法人で活躍するOBOGの働き方

2020年2月18日(木) オンライン授業 (受講生 25名)

～ 企業の研究職として ～

北田 凌太氏 (7海 生物:52修) 日本水産株式会社 中央研究所

✿ 研究に明け暮れた大学時代と就活

学部卒論から修士時代の3年間は大泉ステーションで研究に没頭していた。養殖の研究とそこにあった養殖関連の冊子などもむさぼるように読んで勉強し、水産会社で更に研究を続けたいと考えていた。就活は3か月間東京へも出かけて集中して行った。各社インターンに参加してOBにも面談し企業研究を深掘したうえで本番に臨み、第一志望の日本水産に入社することが出来た。



✿ 入社1年目から新規養殖魚の技術開発を担当

大分にある海洋研究センターに配属となり、人工種苗の生産技術や養殖魚を美味しくするための飼料開発に携わり、民間企業ならではの養殖研究へのアプローチの多様さを学んだ。20年春からは東京の中央研究所に配属となり、更に養殖技術向上のための研究を進めている。

✿ 企業での研究のやりがいとは

市場に出まわる養殖魚の研究は社会との距離が近くてやりがいがある。社内では、若手の意見も採用される事も多くあり、日ごろから論理的に考察し、チーム内での関係づくりも意識して仕事をしている。評価基準は企業なので利益につながるかどうかであり、学術価値より事業価値が優先される。

～環境に関わる仕事について国内外からの要請に応える～

数野 渚氏 (7海 環境:53修) 環境再生保全機構 石綿健康被害救済部

✿ 海が好きで海洋大学に、就職したが学び直して大学院へ

大学では授業や与えられた課題の勉強ばかりしていて、今から思えばもう少し他の事もやればよかったと思う。学部時代は漫然と将来性ある仕事と考えてIT企業に就職したが、再度大学院に入り直して研究活動を再開した。振り返ればもっと真剣に自分の適職を考える必要があった。環境に貢献できる仕事を模索していた時に環境再生保全機構に出会った。自身が目指す業務内容であり、職場の雰囲気にも魅かれて入構した。



✿ 仕事の領域とやりがい

環境再生保全機構の理念は、環境分野の政策実施機関として良好な環境創出と保全に努め、国内外からの様々な要請に応えることである。私は過去の石綿健康被害者への救済に関する幅広い業務を担当している。学会・被害者・医師向けのセミナーの開催や被認定者の調査分析など多岐にわたる。

✿ 東京海洋大学の出身であることに誇りを

海が好きで入学した東京海洋大学では海に関する多くのことを学んだ。皆さんも大学を目指した時は本学に強い思いや夢を持っていたはず。どうかその気持ちを忘れずに大学時代に大いに学び、楽しんで下さい。そしてこれからもずっと東京海洋大学の出身であることに誇りを持ち続けてください。

入社3～4年後のOBOGの働き方と仕事のやりがいについて示唆の多い講演をいただきました。改めて「自己責任でキャリアを切り拓く!」を実感した内容でした。(特任教授 塩谷和美)